

2015年4月7日
全国港湾14発97号

各 四役、中執、単組委員長 殿

全国港湾労働組合連合会
中央執行委員長

系 谷 欽一郎



当面の国民的諸課題の取り組みについて

4月2日(木)開催の15春闘第5回中央港湾団交は、解決に向けて争点を絞り、労使双方が休憩を挟んで再三交渉を重ねたが、最終的には納得のいく回答が得られず、決裂となり、4月5日(日)24時間ストを決行した。また、上乘せ行動として、4月12日(日)24時間ストの通告も行った。

さて、国会では安倍政権の暴走が止まりません。労働者派遣法の改悪、残業代ゼロ法案(労働時間法制の改悪)、沖縄県民の意思を無視して強行する辺野古の新基地建設、集团的治自衛権行使に向けた関連法案、秘密保護法、TPP交渉参加、安倍首相の“わが軍”発言に見られるよう「戦争をする国」への政治が押し進められようとしている。

当面する国民的諸課題は情勢を反映して、幅広く緊急性を求められている。今、取り組まなければ、ますます国民無視、大企業本位の政治につき進むことから、第9回常任委員会/第4回戦術委員会(合同)は以下の諸課題の推進を確認したので、各単組・地区港湾の取り組みを指示する。

記

1. 平和といのちと人権を！ 5. 3 憲法集会

- (1) 日時：5月3日(日)13時～15時30分
- (2) 会場：臨港パーク/横浜みなとみらい地区
- (3) 動員：全横/10人、川港/3名、東京港/5名、各単組2名以上

2. 派遣法改悪法案撤回を求める院内集会

- (1) 日時：4月14日(火)12時～13時30分
- (2) 会場：参議院議員会館 B109会議室
- (3) 動員：各単組2名以上

3. 許すな！雇用破壊 5. 14 ACTION

- (1) 日時：5月14日(木)午後6時30分開会
- (2) 会場：日比谷野音
- (3) 動員：各単組2名以上、東京港5名、全横浜3名、川港2名

4. 国土交通省労働組合の国会請願署名の取り組み(公文第82号)について

- ① 気象事業の整備拡充を求める請願署名
- ② 震災復興、国民の安全・安心の実現へ建設産業の再生署名
- ③ 海洋の環境と国民生活を守る事業の体制拡充を求める署名

以上、三点の署名を第1次集約として4月末及び、5月25日最終集約として取り組むこと。

5. 全労働省労働組合の請願署名の取り組み(公文89号)について

現在取り組んでいる、「現下の雇用失業情勢をふまえた労働行政体制の拡充・強化をめざす請願署名」を第1次集約として4月末及び、5月25日を最終集約として取り組むこと。

6. 日航不当解雇撤回国民共闘の当面の取り組みについて

日本航空の不当解雇事件は、司法での解決は最高裁が不当判決ありきの上告不受理という、裁判ルールを逸脱した不当判決を2月4日(客乗)、5日(乗員)に下した。今後の運動は政府と日航本社に対して、自主解決を迫る取り組みが重点になる。現在政府が進めようとしている労働法制の改悪のたたかいと重ね合わせて取り組みを強化する。

(1) 日航の不当労働行為裁判(行政訴訟)の公正な判決を求める団体署名の取り組み

現在取り組んでいる(公文49号)不当労働行為裁判は、東京高裁が3月26日に結審し、6月18日に判決が言い渡されることから、集約を4月末とする。

(2) 植木日航社長に、自主解決を迫るハガキの取り組み

- ① 各単組は、夫々50枚を取り組むこと。
- ② 取り組み期間は、5月末とする。

(3) JAL一斉宣伝行動/各単組2名以上の動員

- ① 4月28日(木) JR品川港南口
- ② 5月29日(水) JR品川港南口
- ③ 6月29日(金) JR品川港南口

(4) JAL本社デモ&包囲作戦

- ① 日時：5月13日(木)18:00~19:00
- ② 会場：聖蹟公園~JAL本社
- ③ 動員：各単組2名以上、東京港5名、全横浜3名、川港2名

(5) JAL本社行動

- ① 6月11日(木)18:00~19:00
- ② 動員：各単組2名以上

以上

- <添付> ① 平和といのちと人権を！ 5・3憲法集会
② 許すな！雇用破壊 5・14 ACTION
③ 派遣法改悪法案撤回を求める院内集会